



学校インターンシップ →P60・77

課題が明確になり、学ぶ意欲が高まった。

香芝市立小学校の低学年と特別支援学級で補助教員を経験。初めて教育現場を訪れたので、最初は誰にどのように声掛けするかわからず、戸惑いました。担任の先生の指導の様子やメリハリをつけた子どもとの接し方が勉強になりましたね。また、マミポコの運営で学んだことを実践でき、自分に足りないものが明確になりました。小学校教諭になる思いはより強くなり、大学での授業や課外活動に取り組む意欲が高まりました。



浦 雄大さん
現代教育学科3回生
大阪府立狭山高校出身

授業・保育実践演習

学んだことを実践して、改善点を探る。

模擬授業を通して指導力を高めることを目的に、先生役の学生が45分間模擬授業を行い、その他の学生は児童役として参加する演習です。座学で学んできたことを本番さながらに実践し、終了後に先生や他の学生からの評価を聞くことで、教育実習に行く前に授業の組み立て方や改善点について考える貴重な機会になっています。



マミポコ・キッズ



三宅 祐一さん
現代教育学科3回生
私立上宮高校(大阪府)出身

小学生と遊びながら
学んだことを実践。

月に1・2回、近隣の小学生をキャンパスに招いて一緒に楽しむのが「マミポコ・キッズ」。この活動は学びを実践できる場です。子どもとのコミュニケーションの取り方などを先輩から教えていただきました。自分の課題に気づけることや、先生からアドバイスがいただけるのがこの活動に参加するメリットです。

マミポコ・親子ひろば



川原田 真理さん
現代教育学科3回生
大阪府富田林高校出身

幼児教育の現場に役立つ
実践的な活動が魅力。

毎週月曜の午前中、近隣の未就園児の親子に遊びと交流の場を提供。授業で学んだ手あそびや読み聞かせを実践しています。保護者との交流に加え、0歳児が少しずつ話したり歩いたりする成長の様子を間近で見られるのは、実習では得られない貴重な経験になっています。

多様性を学ぶ。

全コースで特別支援学校教諭免許が取得可能



大久保 賢一 准教授
専門:特別支援教育、
知的・発達障害支援

子どもたちの特別な教育的ニーズに
寄り添える先生を養成。

特別支援教育の充実は現代教育の大きな課題の1つです。本学科では2回生から特別支援について学ぶ必修科目を開講しています。授業では「障害」の概念や教育的配慮事項に加え、様々なマイノリティの子どもたちが抱える困難性について解説し、教育現場が抱える複雑な問題にアプローチ。広い視野を持ち、子どもの多様性に敏感に、そして適切に対応できる専門知識を持った教育者を育成します。

卒業後もつながる。

大学院教育学研究科



働きながら学べる大学院。 →P69

いじめ、不登校、特別支援教育、ICTの活用など、現代の教育現場における課題に焦点を当てた大学院です。授業は平日の夜または土曜日に開講するほか、インターネットを通して自宅や職場で受講することも可能で、仕事をしながら学びを深められる環境が整っています。

養護教諭勉強会(養護教諭同窓会)



若林 あすささん
現代教育学科4回生
滋賀県立東大津高校出身

現場で働く先輩のリアル体験談を聞いて
将来像がより明確になった。

養護教諭として働く卒業生が研鑽を積むための勉強会に参加。講師の先生からは、カウンセリングの記録の取り方、保健室経営計画の立て方など、養護現場に沿った具体的な内容を学習。授業で学んだ内容をより深め、発展させることができました。また先輩方の、複数配置の場合の人間関係の築き方や保護者との連絡方法など、子ども対応の技術とは違う視点の体験談を聞くことができました。教科書に載っていないお話はとても参考になり、将来像がより明確になりました。私も養護教諭になりOBとしてこの勉強会に参加したいです。